

補助金チェックシート(新規)

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	光善寺駅周辺市街地再開発事業補助金		
所管部署	都市整備部 連続立体交差推進室		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市市街地再開発事業補助金交付要綱		
制定状況	○	制定済 ⇒	平成22年 6月10日施行
		未制定 ⇒	平成 年 月制定、平成 年 月 日施行予定
交付の目的	本市の区域内において施行される市街地再開発事業の施行者等に対し、補助金を交付することにより、本市の区域内における市街地の再開発を進め、もって公共の福祉の増進に資するため		
補助対象経費	調査設計計画費、土地整備費、共同施設整備費、付帯事務費		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	市街地再開発組合等		
開始年月日	平成30年 4月 1日(確定)	サンセット期日	令和5 年度末
補助金性質分類	制度的補助 ○	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	あり	法令等名称	都市再開発法

2. 予算要求額

(千円)

	月補正	R2	年度当初予算
要求(予定)額			685,829
特定財源	国庫支出金		294,802
	府支出金		0
	その他		49,897
	一般財源		341,130

※組合負担額

交付見込み件数	1
---------	---

3. 補助金の見直しに関する方針との整合性

①補助金交付の基本的な視点

ⅰ 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓	
	一定数の交付申請件数が見込まれる。	✓	
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓	
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について十分検討を行った。	✓	
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備を行うなど。)	✓	
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページで補助制度を公表しているなど)	✓	

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案
○	国や府の法令等に基づく補助金である。	✓	
	市単独の上乗せ等を行わない。	✓	

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓	
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓	